

2. EU の対アジア FTA 戦略とわが国経済への影響に関する調査研究

イ. 調査の目的

本調査研究は、EU の対外経済戦略におけるアジアの位置づけ、EU と韓国の FTA 交渉とその影響、EU とインドの FTA 交渉とその影響、さらにこの二つの FTA がわが国産業に与える影響を明らかにすることを目的としている。

ロ. 調査結果の概要

1. EU の対外経済戦略におけるアジアの位置づけ

EU にとってアジアは重要な貿易・投資の地域であり、アジア各国との貿易や投資額は増加している。また、各国と様々な経済的な対話の場を有している。

2. EU と韓国の FTA 交渉と影響

EU と韓国間では貿易・投資が増加しており、韓国は EU の重要な貿易・投資先となっている。また、韓国のグローバル企業が東欧に製造拠点を設けるなど、欧州への投資を拡大している。韓国側に比較優位のある産業としては通信機器、コンピューター、自動車、電車・飛行機・船関連製品が挙げられている。

交渉においては自動車の関税及び技術基準等の非関税障壁等の問題で意見の一致が見られなかったが、漸く合意の機運が高まっている。FTA が成立した場合、EU 市場では電子製品、自動車における韓国企業の輸出増加が、韓国市場では自動車やサービス分野における EU 企業の輸出増加が期待される。

3. EU とインドの FTA 交渉と影響

EU とインド間の貿易は拡大しており、EU 加盟国からの対インド投資も増加傾向にある。インド側に比較優位のある産業としては繊維産業が挙げられている。

交渉においては、サービス部門の自由化や政府調達、検疫や食品衛生基準等について意見が隔たっており、合意の見通しは立っていない。FTA が成立した場合、EU 市場では繊維製品やサービス分野におけるインド企業の輸出増加、インド市場では自動車やサービス分野における EU 企業の輸出増加と直接投資の増加が期待される。

4. EU・韓国 FTA と EU・インド FTA がわが国産業に与える影響

日本と EU では、FTA 交渉は開始されていないが、様々な経済対話の場が官民のレベルで行われている。しかし、EU・韓国 FTA が締結された場合、EU 市場における自動車及び電気電子分野での日本企業のシェア低下が予想される。

日本とインドの FTA 交渉は基本合意に向けた調整段階にある。EU・インド FTA の締結によるわが国企業へのマイナスの影響は少なく、むしろインドを生産拠点として EU 市場への輸出拡大が期待されるという側面がある。